

テーマ:木材加工技術の向上

森林科学科 木材加工班

年間活動

1月～4月	ペンケース設計・製作
5月	箱の材の鉋がけ 個人作品の設計
6月	住まいの耐震展
7月～10月	箱製作 個人作品の製作
11月～12月	まとめ 実習生産物販売会
1月	発表

活動内容

(1) ペンケースの設計・製作

余った端材を利用して1人1つペンケースを作りました。
最初はうまく加工機を使う事ができなかったが、慣れてきたらうまく利用して良い作品を作ることができました。
丸のこ盤、自動送り鉋盤、超仕上げ鉋盤、帯のこ盤を使用しました。



(2) 箱の製作

端材を一枚の大きな板にして約 30cm×約 25cm に寸法にしました。
ペンケースで使った加工機械をうまく利用して作品を作りました。
実習生産物販売会での展示を目標にしました。
丸のこ盤、自動送り鉋盤、超仕上げ鉋盤、帯のこ盤を使用しました。



(3) 住まいの耐震展

学校で使っている鉋などの工具もすごく手入れされていて、鉋の削りくずがすごく薄くて手入れすればこんなことが出来るのだと感動しました。
たくさんの木材が展示してあり木材の利用方法なども紹介されていて、いままで見たことない木材や加工方法が学習できました。



(4) 個人作品の設計・製作

各個人で設計・製作をして作品を作りました。
設計の時点で立体的(3次元)なイメージをしてそれを三面図(2次元)にして図面を作り、そこから立体的なイメージをすると良いということがわかりました。
本棚、ペーパーナイフ、棚、椅子などを製作しました。まだ完成していないが自分なりに質のいい作品を作ることが出来ました。



(5) 実習生産物販売会

今まで自分たちが製作した作品を展示しました。
木工品の販売は行いませんでしたが作品を見て来場した人によくできていると評価を受けました。



[成果]

- ・最初は木工機械の使い方も良くわからなかったが、作業を進めるうちに慣れてきて、うまく使うことが出来ました。
- ・個人製作では設計から自分で行うことが出来ました。
- ・端材をうまく利用して質のいい作品を作ることが出来ました。
- ・歩留まりを意識して製材することが出来ました。
- ・住まいの耐震展に参加して、木材加工や建築に対する知識を深めることが出来ました。

[課題]

- ・予定していた業者との打ち合わせができませんでした。
- ・材料の調達に時間がかかってしまいました。
- ・作業にムラが出来てしまいました。
- ・個人製作物の完成に差が出来てしまいました。

最後に…

今年度の木材加工班には、木材加工の企業に就職する人や建築の専門学校に就職する人もいます。木材加工に関わる人も、そうでない人も今回の木工品の製作で学んだことを糧にして、自分達の将来に活かしていきたいです。